

### 重点目標① 民生委員・児童委員は地域の身近な相談相手（つなぎ役）

住民の身近な相談相手となるには、民生委員はそばにいることに気付いてもらい、頼られるつなぎ役となることが求められる。そのために常に民生委員信条を胸に、住民目線に立った活動を継続し、地域の幅広い人と積極的に情報交換し資質向上に努めること、そしてこれからも民生委員制度が続いていくよう地域をまきこんだ広報活動を推進していく。

#### 具体的取組例

- 地道な訪問活動でのニーズ把握と住民との関係づくりの推進
- 地域への自治会をまきこんだ広報活動      ・他団体との研修      ・地域行事への参加

### 重点目標② 児童委員は「地域の子育て応援団」

児童委員が地域の子育て応援団として地域で子どもに一番身近な大人となるには、子どもとの接点を増やして顔を覚えてもらい、子どもの輪に入ることが必要である。そのために地域の他団体との連携をするなどして子どもの心をつかむような、わくわくする活動を推進する。またあいさつ運動や見守りの継続、居場所づくりで子育てしやすい地域づくりをめざす。さらに主任児童委員についての活動環境整備のため、広報や主任児童委員と児童委員の連携についても強化する。

#### 具体的取組例

- 伝統行事の伝承活動など地域での子育て支援活動、居場所づくり事業の実施や運営支援
- 教育現場でのボランティア活動      ・児童委員・主任児童委員の認知度を高める広報活動
- 定例会での児童に対する積極的な情報共有

### 重点目標③ 地域と協力し、地域を育てる。

地域力を強化し、地域共生社会の実現をめざすためには、民生委員は地域での行政等関係機関と住民との結節点（ハブ）となることを意識し、地域と協働して地域状況や住民の課題を把握し解決へ導くことが大切である。そのため、支えあいマップづくりなど地域に関する話し合いの場や地域行事に積極的に参加し、活動の可視化を心がけ地域を育て、地域課題を地域で解決できるための地域づくりに貢献していく。

#### 具体的取組例

- 地域各団体と住民をつなぐ結節点となるよう、各団体との連携を強化
- 地域の関係機関と連携したニーズ把握、地域で協働するための仕組み作りへの協力
- 災害時要支援者名簿や支え愛マップの活用の推進      ・地域課題を協議する場への積極的参画